

学生の発表会の評価表の書式について

岐阜大学大学院医学系研究科 寄生虫学 高橋優三

主旨

学生のプレゼンテーションを学生が評価する書式を製作した。
学生が書式にしたがって記入すれば、プレゼンテーション能などを得るように工夫した。

背景

学部学生の学習効果を上げるため、正規のカリキュラム中に、学生に発表させる機会を設けることがあります。教育上の狙いとしては、

- 1) 学習の理解を深める、
- 2) 学生の学習モチベーションを上げる、
- 3) 学生にプレゼンテーションの練習をさせる、などがあります。

このように発表会への期待は大きいのですが、限られた時間内に、勉強内容のみならず、プレゼンテーションの仕方について指導することは、意外に困難です。また、永年続けていると、発表会自身が緊張感を欠いたものになります。これらの問題を解決するため、学生による評価というものを取り入れ、学生が自ら評価する過程において、プレゼンテーションの仕方などについて、自然に学べる書式が有れば、便利です。

製作したもの

- 以下、2つの書式を製作した。
- 1) 聴衆の学生が、同級生のプレゼンテーションを評価する書式
 - 2) 発表した学生が、自分のプレゼンテーションを評価する書式
- 2つとも、プレゼンテーションの後に記入してもらう。この書式は、学生に事前配布しておく。

製作に当たったの工夫点

より良い発表会の運営やプレゼンテーションのためには、学生自身が問題点に気が付き、自分達の方で改善の努力をする事が大切です。この気が付きのためには、コーチングの考えやポートフォリオの考えを取り入れることが重要です。本提案の評価表は、評価するという作業を通じて、それに必要なコーチングやポートフォリオの考え方を抜粋して学べるように工夫されています。

本評価表の利点

学生は、このような評価をする作業を通じて、コーチングやポートフォリオの基礎知識を学びます。将来、これを元に本格的にコーチングやポートフォリオの本を読めば、かなり興味をもってこのような分野の学習ができるものと思われます。

彼らは、次世代の教育を担います。その彼らにコーチングやポートフォリオの芽が出来る事は、意義あることです。

最後に

本提案の書式は、岐阜大学のチュートリアルコース（寄生虫学担当分）で用いられるように作ったものですが、臨床実習での症例発表、シミュレーション医学教育での振り返りなど、先生方の現場のニーズに合わせて調整し、使っていただけましたら幸いです。

発表会 Reflection Form

(reflection とは、自分を見つめなおす事。正直な記載は自己成長の原点)

あなたの名前 _____

見事なプレゼンテーション
聴衆 うっとり
演者 気分爽快

該当するところに チェックを

やってみて、聴衆の反応は

- 発表の後、的確な質問が沢山あって、嬉しかった。
- 発表の後、質問も反応もなく、さびしかった。
- 聴衆が熱心に聴いてくれた。これは、自分のプレゼンテーションが良かったから。
- 聴衆が熱心に聴いてくれた。これは、聴衆が礼儀正しいから。
- 後ろの方の聴衆は、雑談でざわついていて不愉快だった。講演中の私語が、とても失礼・迷惑になると、立場が代わって初めて気が付いた。

やってみて、メッセージの伝達は

- 重要メッセージを強調する私の作戦は、成功だった。
- 自分の考えを柱に、関連の知識を統合して話を進めたので、聴衆にメッセージが伝わった。
- 名前の一覧は表にまとめ、無味乾燥な説明を避けた。この作戦は、成功だった。
- 多くの知識をもらさず紹介しようとして、結局、短なる意識の羅列。聴衆は退屈してしまった。
- 論理は良かったが、メッセージの量が多すぎて、結局、聴衆にメッセージが伝わらなかった。
- メッセージの内容に間違いがあったのに、自分で気が付いた。

まとめ・発表の作業を通して

- 当番だから、仕方が無い。いやいやながら仕事をした。やはり意義を見出せなかった。
- 纏めているうちに、学習内容の面白さに気が付いた。
- 他人にどう伝えるべきか考えているうちに、自分の頭の中が整理された。
- 人に感動を与える発表がある。このコツが分かった気がする。

全体を通しての印象

満点を 100、合格点を 60 として、今回の発表は?

_____ 点

素朴な質問

プレゼンテーションが

上手い人は、一生の間に、どれだけ得をするのだろうか？

下手な人は、一生の間に、どれだけ損をするのだろうか？